

おいしい米

づくり情報 第6号

“新・米づくりやまがた日本一運動”
庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課
Tel. 0235-64-2103

生育は3日程度の遅れ、

ポイント ⇒ **こまめな水管理で分けつを促進！**

●生育の状況(5月31日現在)

表1 5/31の作況ほの生育(作柄診断ほ、鶴岡市矢馳)

育苗期から移植・活着期にかけて低温傾向で経過したため、5月31日の生育は、葉数が平年比-0.4葉、茎数は平年比91%と遅れており、これから分けつが始まるという状況です。

これからは、分けつを促進し、初期生育を確保するため、きめ細かな水管理が重要です。

また、4月に断続的な降雨があり、ほ場の乾燥が進まなかったため、今年の乾土効果は「小さい」と見込まれます。

年次	乾土効果 (水田農試 調べ)	アンモニア 態窒素 (mg/100g)	5/31の生育		
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (枚)
本年	小	2.7	19.7 (96)	126 (91)	4.0 (-0.4)
前年	やや小	5.0	20.8	144	4.4
平年	-	4.9	20.5	138	4.4

●今後の注意点●

- ① 初期生育の遅れ → 有効茎数確保のため分けつの促進を
 - ② 乾土効果は“小さい” → 今後の茎数や葉色の推移に注意
- 適正な茎数を確保するため、生育をチェックしながら、水管理で適切にコントロールしましょう！

●分けつを促進させるための水管理のポイント

- 1 水深2~3cmの浅水管理！
- 2 水温をできるだけ上げるため、日中は止水！
- 3 昼夜の地温の温度差をつけるため、夜間かんがい！

★ 「ワキ」は分けつの大敵、速やかな対策を。

- なお、低温の日や強風が続くときは、水深をやや深めにして、稲体を保護しましょう。

●土壌の還元(ワキ現象)対策について

分けつ期に晴天・高温の日が続くと、土壌の還元化が進み根の生育に悪影響を及ぼします。ガスの発生状況に応じ、好天日を選んで、“**水交換**”、“**夜間落水**”、“**2～3日程度の田干し**”を行いましょ。

ワキの程度	生育への影響	対策	
		分けつ初中期	分けつ盛期
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い。	根活力低下	水交換	
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根張り不良	夜間落水	
晴天時自然に気泡を発生し、音がする。 水田を歩くと著しく気泡が発生する。	根の伸長阻害 地上部黄化	田干し (2～3日)	間断かんがい、 田干し

※早めに田干しを行う場合は、雑草対策に留意してください。

●農薬だけに頼らない病害虫対策を

*カメムシ対策 ⇒ **雑草対策の徹底**が基本です。農道・畦畔等の除草のほか、**そばの作付け予定ほ場の耕起**を早めに行いましょう。

*いもち病対策 ⇒ 除草剤散布後は補植できません。散布後は**置き苗をただちに処分**しましょう。

●直播栽培

○湛水条播 ～ そろそろ3葉期を迎えます。

◎鶴岡田川地域（沖積砂壤土～軽埴土）の3～5葉期の対応

苗立ち密度	3葉期（5/20～31）の対応	5葉期（6/1～10）の対応
80本/㎡未満	追肥（初期分けつ促進） 窒素成分で1kg/10a	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で1.5kg/10a
80～120本/㎡	—	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で1.5～2kg/10a
120本/㎡以上	深水管理の開始 （7/10頃まで行う）	追肥（中期の凋落的生育防止） 窒素成分で1～1.5kg/10a

○乾田V溝 ～早いところで2葉期に入ります

葉数を確認し、2葉になったら入水しましょう。入水3～5日後に、湛水状態が安定したことを確認し、一発処理除草剤を散布しましょう。

農薬の適正使用を心がけましょう！